

2025 年（令和 7 年）9 月 24 日

野々浜小学校保護者様

福山市立野々浜小学校
校長 東 真由美

各種学力調査の結果について

平素より、保護者の皆様には、本校の教育活動にご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、令和 7 年 4 月 1 7 日（木）に 6 年生を対象に「令和 7 年度全国学力・学習状況調査」、4 月 2 4 日（木）に 4・5 年生を対象に「福山市学力定着状況調査」が行われました。該当学年の保護者の皆様には、結果を 1 学期に配付させていただきました。

これらの調査は、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るためのものです。学校では、これらの結果を受け、よりよい学校教育が行われるよう、全教職員で共通理解を図りながら授業改善を進めてまいります。

全国学力・学習状況調査（数値は正答率）

学年	教科	本校（％）	広島県（％）	全国（％）
6	国語科	6 6． 0	6 9． 0	6 6． 8
	算数科	5 8． 0	5 9． 0	5 8． 0
	理科	4 9． 0	5 9． 0	5 7． 1

福山市学力定着状況調査（数値は正答率）

学年	教科	本校（％）	福山市（％）	全国（％）
5	国語科	5 8． 2	6 1． 7	6 6． 2
	算数科	6 3． 9	6 1． 8	6 7． 9
4	国語科	5 5． 7	6 5． 8	6 6． 8
	算数科	6 3． 5	6 9． 6	7 2． 4

学習においては・・・

☆授業の中で、自分の考えを整理したり、まとめたりする力を付けるために、表現する場や「書く活動」を積極的に取り入れ、指導します。

☆帯タイム（毎朝8：25～8：40、火・木曜日の13：20～13：35）を活用し、授業内容の定着や既習事項の復習に取り組みます。

【国語科】思考力、判断力、表現力の「書くこと」の文章全体の構成や展開を理解し、視点や条件に沿って書くことを指導します。

☆「書くこと」の学習では、学年に応じて、下記のことを取り入れます。

- ・低学年では、日記や手紙を書くなど、思ったことや伝えたいことを書く活動を通して、文章の中で大事な言葉や文を考えて見付け出すことができるようにします。
- ・中学年では、行事の案内やお礼の文章を書くなど、伝えたいことを手紙に書く活動を通して、内容の中心を明確にして、「はじめ・中・終わり」で文章を書くことができるようにします。
- ・高学年では、情報を編集して文章にまとめるなど、伝えたいことを整理して書く活動を通して、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができるようにします。

☆言葉の力を高めるために、下記のことを取り入れます。

- ・主語と述語を明確にし、修飾語を使いながら豊かに表現できるように指導します。
- ・段落構成、文字数などの条件を指定して、文章を書かせる機会を増やします。
- ・辞書を使う機会を増やし、言葉の意味を正しく理解できるように指導をします。
- ・図書を学級に貸し出すなどの取組を行ったり、家庭で読書をしたりすることを通して、読書量を増やします。



【算数科】図形を構成する要素とその関係、図形間の関係に着目して、図形の性質、図形の構成の仕方、図形の計量について考察することを指導します。

☆図形の学習では、学年に応じて、下記のことを取り入れます。

- ・低学年では、辺の長さや角の形を具体物を用いて調べながら図形についての理解を深めます。
- ・中学年では、複雑な図形の面積を求めるときは、長方形や正方形と見て、それらに分ける工夫をして求めたりできるようにします。
- ・高学年では、平行四辺形などの平面図形の面積を求めるときは、具体的な操作を通して長方形などの簡単な形に変形して求めたり、複雑な立体図形の体積を求めるときは、直方体や立方体と見て、それらに分ける工夫をして求めたりできるようにします。

☆数量関係を、□や△、xやy等を使って立式し、求めることができるようにします。

- ・図を用いて数量関係を正確に把握できるようにします。
- ・式や図、言葉で自分の考えを書くことができるようにノート指導を行います。



【理科】児童が自然の事物や現象に親しむ中で興味・関心をもち、そこから問題を見付け、予想や仮説をもとにして観察、実験などを行い、結果を整理し、友達と考えを交流し、結論として科学的な見方や考え方をもちようになるように指導します。

☆問題解決の力を付けるために、学年に応じて、下記のことを取り入れます。

- ・中学年では、身近な自然の事物・事象を比較したり、はたらきや時間などと関係付けたりしながら調べることで、科学的な見方や考え方をもてるようにします。
- ・高学年では、自然の事物・事象の変化や働きをそれらにかかわる条件に目を向けたり、要因や規則性、関係を推論したりしながら調べることで、科学的な見方や考え方をもてるようにします。
- ・予想、仮説、観察、実験などの流れを提示して、授業を進めます。

☆電気や磁石の学習について、それぞれの学年で身に付ける力を定着できるようにします。

- ・電気を通す物、磁石に引き付けられる物を調べる際に、実験の結果を児童が自分で表などに整理してまとめられるようにします。
- ・直列つなぎ、並列つなぎについて、電球の明るさやモーターの回り方の変化を電流の強さと関係づけて考えられるように指導をします。



<ご家庭で>

☆国語科

「書くこと」と「読むこと」は密接なつながりがあります。お子さんが学校図書館で借りた本についてご家庭で話をする時間をつくってください。本の世界を通じ、たくさんの言葉から語彙を豊富にし、書くことへの意欲につなげます。また、2学期から全校で暗唱に取り組んでいます。暗唱は、言葉の楽しさやよさを感じながら脳を活性化させ、語彙力や思考力等、様々な力をつけることができます。ご家庭でもお子さんのがんばりをぜひ聞いてください。



☆算数科

図形の学習は、日常生活に関わることが多いです。身の回りの箱の形や辺の長さを比較する経験を積む等、量感を身に付ける機会を増やしてみてください。



☆理科

冬に窓ガラスが結露するなど身近な現象に触れていただいたり、月や星、雲の変化を普段から一緒に観察したりすることを通して、理科への興味・関心を高めるきっかけを作ってみてください。



☆2学期以降、家庭学習を習慣化させ、学力の定着、向上を目指すために「STUDY・WEEK」を、定期的に行います。テレビ、ゲームやスマホなどの利用時間を自分で（低学年は保護者の方と一緒に）設定することで、メディアコントロールができるようにしていきたいと思います。ご協力よろしくお願いします。

